



## 平成30年度 守る会の活動方針

守る会会長 和田 正人

2021年に、結成50周年を迎える荻町守る会。今日までつないできた先人先輩方に感謝し、夢と希望をもって未来に継承できるよう、これからの4年間の取り組みを進めたいと意を新たにしています。また、本年度は三村交流会の荻町開催。来年度5月には世界茅葺会議の開催も予定されています。景観保全・結の根ざした生活・後継者育成にむけ、山積している課題を1つでも多く解決できるよう、昨年同様の活動スローガンを掲げ取り組みを進めたいと考えています。区民会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

#### 1. 組織の強化と各種団体との連携

- ・各組・各種団体選出の委員が代表者として責任を持ち、組・団体内への定例会の報告や意見要望を把握し、区民全体の守る会となるよう努めます。
- ・現状変更申請に関わる審議の適正かつ円滑化を図るとともに、景観保全にむけた充実した話し合いを進めます。
- ・各種団体との連携を密にし、「世界遺産マスタープラン」の具現化にむけ、住民として必要な取り組みを行います。

#### 2. 「守る」に関わる重点活動

- カヤの自給率向上を目指すべく、教育委員会・日本ナショナルトラストの支援を得ながら、第3回秋の茅刈りイベントの継続と住民の参加率向上に努めます。
- 将来的に保存が困難となりうる板蔵や小屋（合掌家屋）の実態調査を進めると共に、その保存と活用にむけた話し合いに取り組みます。
  - ・北面荒れ地の景観向上にむけた、話し合いや取り組みを進めます。
  - ・仮設を含めた店舗の景観、休耕地の復原や農地の保全にむけて、営業者・住民との話し合いや合掌財団等の協力を得ながら、世界遺産に相応しい農村集落の維持改善に努めます。
  - ・休耕地の草刈りやオオハンゴンソウ・オオキンケイギクの除去に取り組みます。
  - ・トタン屋根塗料補助やオダレの助成、センガ岩倉庫の活用に継続して取り組みます。

#### 3. 「くらす」に関わる重点活動

- 結のもつ意義（住民の絆・屋根葺き技術の継承）の上に立ち、合掌家屋保存組合と共動して結による屋根葺きの奨励に努めます。
- 空き家対策を見据え、保存の三原則「売らない・貸さない・壊さない」の「貸さない」についての議論を深めます。
  - ・舗装に替わる土凝固剤の使用や土面露出の景観について、継続して取り組みます。
  - ・荻町交通対策委員会と連携し、世界遺産の景観と住民の安全な生活の観点から話し合いに参画し、世界遺産にふさわしい観光車両の誘導（自主規制）に取り組みます。
  - ・センガ岩倉庫の老朽化にともない、代替施設の要望を進めます。

#### 4. 「つなぐ」に関わる重点活動

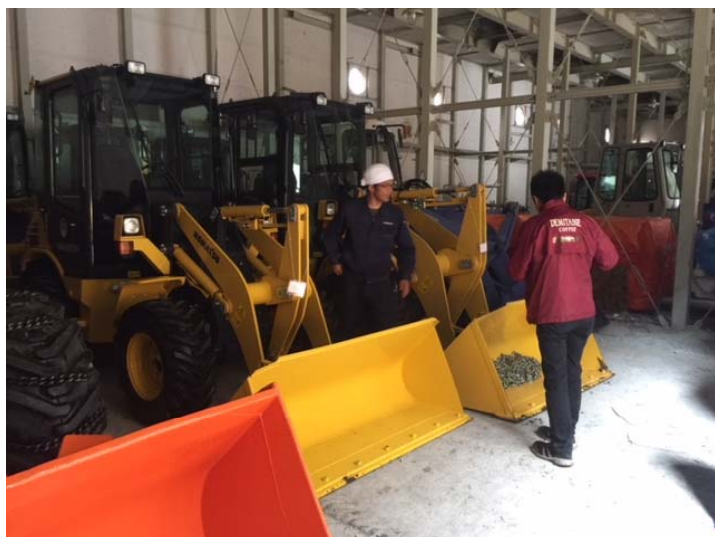
- 4年後の50周年記念事業のあり方を視野に入れ、来る三村交流会の内容や世界茅葺会議への参画を、前向きに検討準備します。
- 白川郷学園「ふるさと学習」の取り組みを、積極的に支援します。
  - ・寺口家の活用に関わる取り組みや会報紙ねそを有効活用し、女性や若者の参画につなげます。
  - ・全国の連携協力関係にある諸団体の行事等に積極的に参加し、荻町住民及び守る会の保存活動をPRするとともに、荻町住民のさらなる活動への理解・認識の向上に努めます。
  - ・会報紙ねそやホームページ、SNS等を最大限に活用し、守る会の活動状況や景観保全の重要性を内外に広く発信します。

(以上、4月定例会にて承認済)

**荻町交通対策委員会！！**……3月30日夜、みだしの会が開催されました。集落内観光車両自主規制も、概ねよい方向に進んでいます。外国人レンタカー等の流入が課題に。電光掲示板も集落北面に設置され、今後の有効活用を進めながら、荻町進入道路の形状変更や交通誘導看板の精査を進める等、次年度にも取り組みを継続します。次回は4月中旬に開催を予定。ゴールデンウィーク時の交通対策等について検討します。なお、交通対策に関わるご意見ご要望がありましたら、守る会または荻町区役員へお願いいたします。【文責:和田】



**セंगा岩倉庫の活用！！**……4月7日午前、セंगा岩倉庫の入れ替え作業を行いました。今回の夏期活用は、28名・合計32台の利用となります。除雪機や農業機械等の野外放置を減らし、景観のさらなる向上を目指す取り組みにご協力いただき、心より感謝申し上げます。また、今回より使用料を当日徴収する等運営上の変更を行いました。こちらにもご協力いただき感謝申し上げます。さらに、倉庫の老朽化にともない、代替施設の必要性も強く感じています。今後の運用につきまして、皆様のご意見ご要望を反映できるよう努めて参りますので、よろしくごお願い申し上げます。【文責:一般環境部長川田】



〔搬入・搬出に配慮し、機械を納車〕

平成30年度白川郷荻町集落の自然環境を守る会委員一覧		
選出部門	氏名	役職・所属部会
選	拳 和田 正人	◇会長
推	薦 今藤 建二	◇副会長
推	薦 尾崎 達也	◇事務局長
推	薦 野谷 信二	○合掌環境部長
推	薦 川田 晋也	○一般環境部長
西下組	鈴木 智也	○企画部長
旧寺口家	福田麻衣子	○総務部長
中屋組	小洞 輝文	・企画部
東上組	木戸口 太	・合掌環境部
東中組	藤坂 俊幸	・一般環境部
東下組	田中 栄作	・合掌環境部
西上組	三島 秀紀	・合掌環境部
橋場組	和田 勇治	・一般環境部
集落議員	上手 英二	・企画部
大工組合	川田 裕	・総務部
合掌組合	大田 忠広	・合掌環境部
宿泊業	川淵佐栄子	・総務部
土産品組合	盛 勇太	・一般環境部
飲食店	武田 聖司	・企画部
女性会	福地こずい	・企画部
女性会	橋脇美加子	・一般環境部
女性会	堅田亜記子	・企画部
青年	橋脇 湊	・総務部
合掌財団	下目 稔	財団事務局長
合掌財団	原 卓也	財団事務局
教育委員会	宮脇 紀忠	事務局長
教育委員会	松本 継太	文化財係主査 設計士

## ＝ 3月の活動報告 ＝

- 3月9日 村伝建審議会(会長・副会長)
- 3月9日 3月定例会・役員会
- 3月10日 ねそ3月号発行
- 3月13日 現状変更申請現地調査(会長・副会長・教育委員会)
- 3月16日 西村幸夫教授最終講義(於東京大学、会長)
- 3月19日 地域おこし協力隊活動報告会(平瀬)
- 3月30日 荻町交通対策委員会

※5月の定例会は10日(木)を予定しています。

◎区民の皆様へ……建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願い致します。

## ☆ 4月の協議事項(現状変更申請に関わって) ☆

- \*\*\*\* ……一般住宅の増改築
- \*\*\*\* ……玄関横窓取り替え
- \*\*\*\* ……自宅増築
- \*\*\*\* ……東側落屋増築
- \*\*\*\* ……看板の取り替え

※30年度守る会定例会開催日をお知らせします(葬儀や突発的な行事等で変更の場合あり)。  
 5月10日(木)、 6月8日(金)、 7月10日(火)、 8月9日(木)  
 9月10日(月)、 10月9日(火)、 11月9日(金)、 12月10日(月)  
 1月17日(木)、 2月8日(金)、 3月8日(金)。